

下田総合庁舎 定例記者懇談会資料

令和 7 年 3 月 25 日

賀茂地域局

次回の定例記者懇談会
令和 7 年 4 月 25 日（金）
午前 9 時 30 分から
会場：賀茂キャンパス

目 次

◎重要施策発表

賀茂地域の「港」の取り組み・・・・・・・・・・・・・・・・	1
	(下田土木事務所)

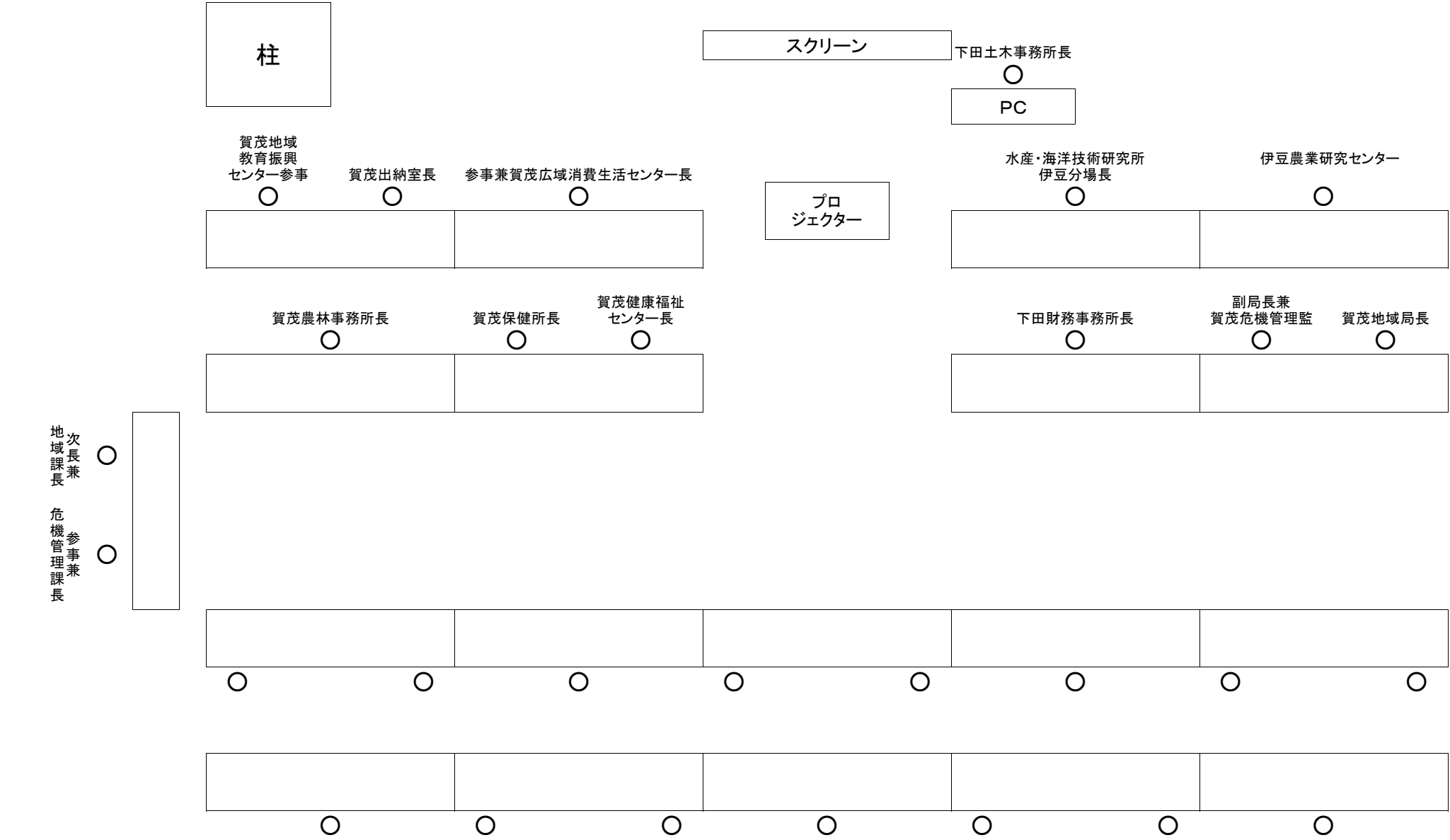
◎令和7年4月の行事予定

行事予定表・・・・・・・・・・・・・・・・	16
防災講座について・・・・・・・・	18
	(賀茂地域局)

定例記者懇談会構成員名簿

	役職名	氏 名
1	賀茂地域局長	しらとり 白鳥 みちひろ 満啓
2	賀茂地域局副局長兼賀茂危機管理監	やまなし 山梨 よしゆき 義之
3	伊豆観光局長	いちかわ 市川 けん 顯
4	下田財務事務所長	かみや 神谷 あきよし 明良
5	賀茂健康福祉センター所長	すずき 鈴木 ふじお 藤生
6	賀茂健康福祉センター医監兼賀茂保健所長	ほんま 本間 よしゆき 善之
7	賀茂農林事務所長	ふかの 深野 ち え こ 智恵子
8	農林技術研究所伊豆農業研究センター長	ば ば 馬場 ふ じ お 富二夫
9	水産・海洋技術研究所伊豆分場長	わしやま 鷺山 ひろふみ 裕史
10	下田土木事務所長	さとう 佐藤 まさふみ 雅史
11	賀茂広域消費生活センター所長	くらしま 倉島 ひろあき 浩彰
12	賀茂出納室長	まつなが 松永 とし の 俊乃
13	賀茂地域教育振興センター参事	つちや 土屋 かずみ 一巳
14	賀茂地域局次長兼地域課長	しらつち 白土 たつお 達夫
15	賀茂地域局参事兼危機管理課長	すずき 鈴木 かなめ 要

賀茂地域定例記者懇談会 座席表
(下田総合庁舎別館 2階 賀茂キャンパス)



賀茂地域の「港」の取り組み

下田土木事務所

令和7年3月25日(火)

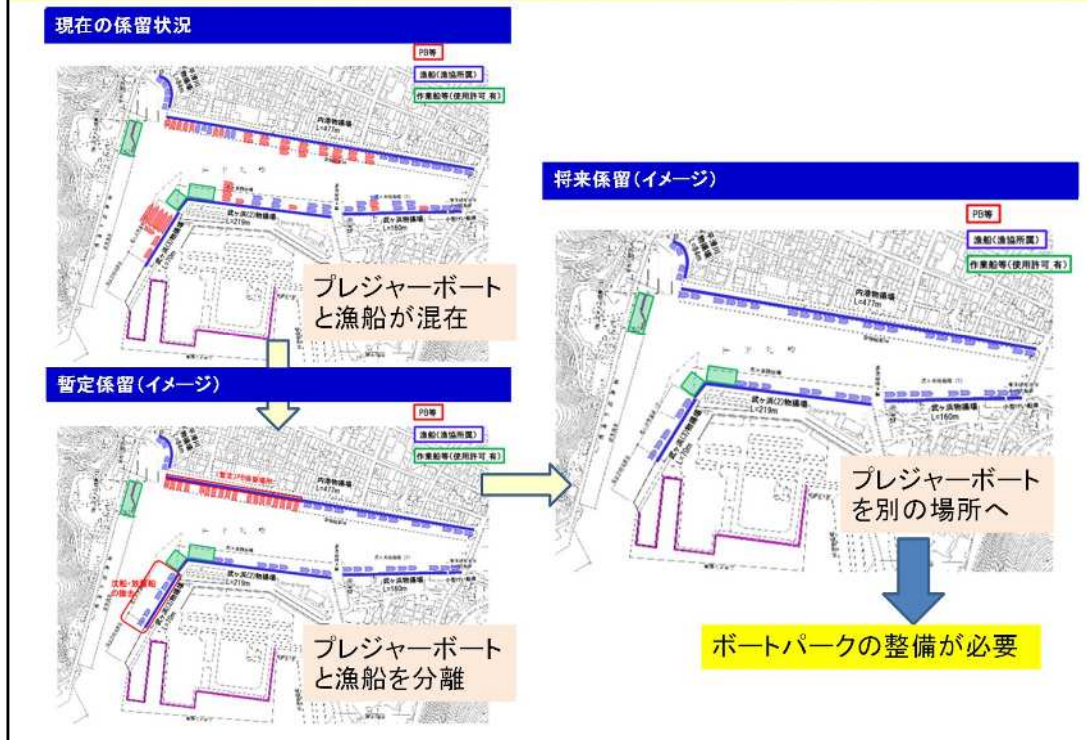
1 下田港のボートパークについて

稲生沢川河口部の沈船・放置船の状況



こちらの写真は、下田港の内港・稲生沢川河口部にある船舶の係留状況です。
特に赤く印をしたところが沈船・放置船となります。

下田港放置船対策の基本方針



下田港の放置船対策の基本方針を説明します。

現在の係留状況は、プレジャーボートと漁船が混在しています。

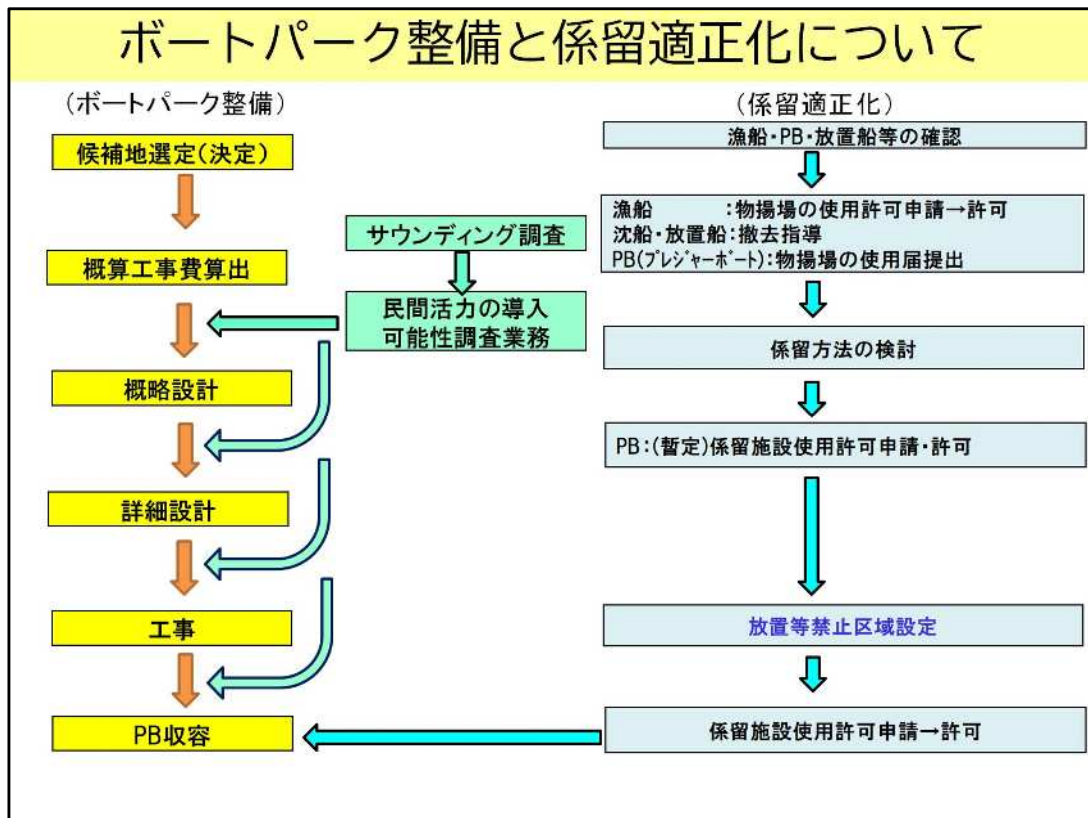
それを、まずは暫定係留としてプレジャーボートと漁船を分離します。

将来はプレジャーボートを別の場所へ移動させたいと考えており、

その移動先として、プレジャーボートを収容する係留施設、「ボートパーク」を整備したいと考えています。

プレジャーボートをボートパークへ収納

まどが浜海遊公園の前面あたりになります。



ボートパーク整備のフローを説明します。

左側の黄色いフローの一番上の四角で、先ほど説明したとおり候補地が決まりました。

並行して右側の係留適正化の青いフローのところで、係留船舶を確認し、使用届を出してもらうことで、船舶の継続利用の意向確認をします。

それを基に、今後、概算工事費の算定を行いつつ、サウンディング調査により、民間事業者の参入の可能性を探っていきます。

民間活力の導入は、「民間で施設整備から実施する」というやり方や、「維持管理段階で参入してもらう」といった方法までいろいろなケースが考えられます。

このため、ボートパークの設計、工事と進めながら、段階的に、民間活力導入の可能な形態を探っていきます。

右側の青い係留適正化のフローでは、まずは、漁船、プレジャーボートの把握をしています。

漁船には、使用許可申請を依頼し、令和6年7月から許可しております。

沈船・放置船に対しては、撤去指導中です。

プレジャーボートについては、今後使用届を提出してもらうい、所有者を把握する予定です。

係留船を把握し、利用の無い船は廃棄して数を減らし、その後、稲生沢川河口部での係留方法を検討します。

暫定係留が始まる段階でプレジャーボートについては、係留施設の使用許可申請をしてもらいます。

併せて、放置等禁止区域を設定し、管理を強化します。

ボートパークが完成した暁には、新しい施設での使用許可申請をしてもらいます。

2 賀茂地域へのクルーズ船誘致

■ 県内港湾への寄港状況(年次推移)



■ 県内港湾全体の寄港状況です

県内で、寄港実績が多いのは清水港ですが、下田港にも日本丸が2回（R5. 2、R6. 1）寄港しています。

令和6年1月、日本丸には下田港へ寄港して頂きましたが、残念ながら、当日、風が強くなり上陸はかないませんでした。（松崎港への上陸申請しておらず、清水港へ寄港し、バスで伊豆を観光している）

清水港の実績積み上げには、客船誘致委員会の30年来の誘致活動に加え、2013年の富士山世界遺産登録も追い風に、マウントフジポートとして知られるようになり寄港が増加に繋がったようです。

賀茂地域においても、ジオパークはじめ多くの魅力がありますので、早期の積極的な誘致活動が必要ではないかと感じています。

■2024年の県内港湾への客船寄港予約状況

2024年の県内港湾への岸壁予約は、昨年実績を上回る92件。

・港湾別では、清水港に89回(うち外航船84回、内航船5回)、
御前崎港に2回(全て外航船)、伊東港に1回(内航)

・春(3~4月)、秋(9~10月)がピークだが、今年は5~8月の寄港も高水準

【月別・港湾別内訳】

*2024年6月1日時点(単位:回)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年計
清水港	外航		1	13	18	8	6	8	7	10	10	3		84
	内航	3		1				1						5
御前崎港	外航				2									2
	内航													0
伊東港	外航													0
	内航							1						1
県内計	外航	0	1	13	20	8	6	8	7	10	10	3	0	86
	内航	3	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	6
	合計	3	1	14	20	8	6	9	8	10	10	3	0	92

■2024年の県内港湾への客船寄港予約状況です。

2024年、県内港湾には昨年の実績65回を上回る95回の寄港が予定されています。

残念ながら賀茂管内の港への寄港は計画されていません。

寄港実現のため、計画的に誘致計画を立てる必要があります。

■下田港へのにっぽん丸の寄港

寄港日時	2023年2月22日（火） 8:00～16:30
船名	にっぽん丸
船社	商船三井クルーズ（株）
当日乗客数	358人
ツアー行程	神戸→下田→清水→神戸
船社手配 オプション ツアー	① 河津さくら祭り
	② 河津さくら祭り 河津七滝 伊豆今井浜東急ホテル 稲取文化公園 雛の館
	③ 了仙寺 下田ロープウェイ 道の駅 開国下田みなと



2023年における、県内最初の貨客船寄港は、2月22日の下田港でした。

「にっぽん丸」が沖に停泊し、乗客はテンダーボートに乗り換えて、上陸しました。

下田港客船誘致委員会（下田市観光交流課、下田観光協会、下田商工会議所、伊豆漁協など）の皆様が受け入れ準備をさせていただき、当日は、熱い歓迎をしていただいたところです。

また、上陸頂いた皆様には、各所で沢山の買い物、観光などをして頂きました。

■松崎港への飛鳥Ⅱの寄港

寄港日	2025年8月2日（土）
船名	飛鳥Ⅱ
船社	郵船クルーズ（株）
乗客数	最大872名 （最小催行人数200人）
ツアー行程	横浜→松崎→横浜
ツアー目的	海水浴を中心としたファミリー 向けサマークルーズ
船社手配 オプション ツアー （予定）	① 堂ヶ島、石廊崎遊覧
	② 下田まちあるき
	③ 松崎まちあるき
	etc.



今年2025年8月2日には、松崎港に飛鳥Ⅱが寄港します。
 飛鳥Ⅱは令和2年に一度寄港が計画されましたが、コロナの影響で中止となっていました。
 それから5年がたち、再び寄港が決定しました。
 松崎町のみならず、賀茂管内の地域振興に寄与するものとなることを期待しています。

3 西伊豆発祥の「海釣りGO!!」

海釣りGO!! in西伊豆町



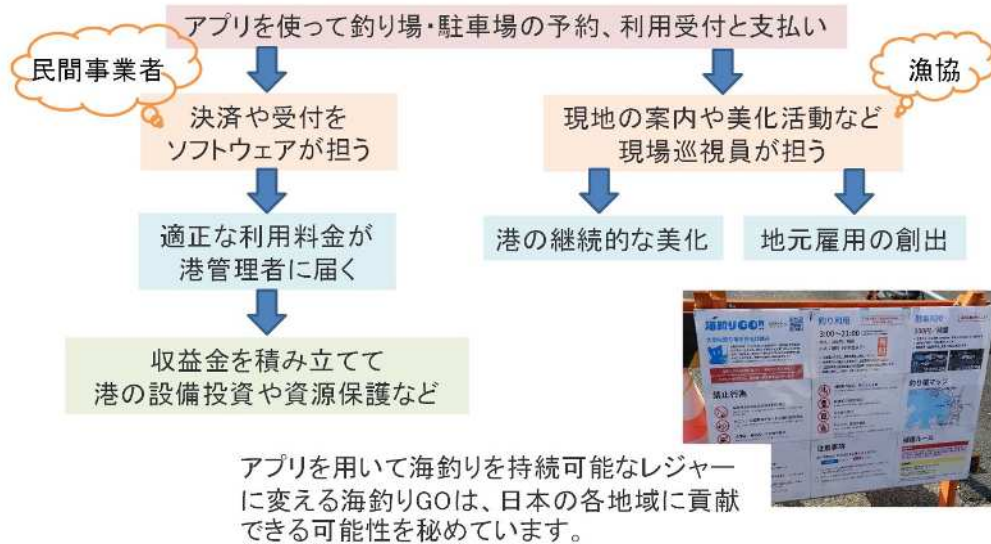
西伊豆町では、田子漁港、仁科漁港の2つの町営漁港で、海釣りGOの取組が行われています。

海釣りGO!! in西伊豆町

【海釣りGOの概要】

大切な釣り場を守る仕組み

ルールを守って持続可能な「いい釣り」場



海釣りGOとは、大切な釣り場を守る仕組みです。

みんなが使う港だから、ルールを守って持続可能な「いい釣り」場を目指しています。

海釣りGOは、アプリを通して釣り場や駐車場の予約、利用受付や決済までができるサービスです。

このアプリは西伊豆に移住した方が作った民間事業者のシステムです。

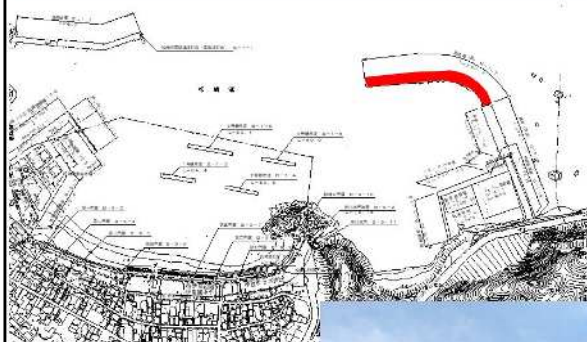
個人の裁量に任されていたこれまでの海釣りに対し、釣り人を責任ある漁港利用者として位置付け、適切なルールのもとで適正な利用料金を漁港管理者に届けることのできる、地域に調和した新しい海釣りレジャーを提案します。現地の案内や美化活動など、人でなくては出来ない部分を現場巡視員が担い、決済や受付をソフトウェアが担う、メリハリあるシステムが海釣りGOの強みです。

運用面での負担を極力軽くできるため、収益金を積み立てて漁港への設備投資や資源保護など、将来に向けた投資に回すことができます。

スタッフの巡視は漁港施設の継続的な美化が実現するだけでなく、地元雇用も創出します。

アプリを用いて海釣りを持続可能なレジャーに変える海釣りGO!!は、日本の各地域に貢献できる可能性を秘めています。

海釣りGO!! in松崎町 トライアル



開催予定日：
令和7年5月10日(土)～11日(日)
令和7年7月5日(土)～6日(日)
主催：松崎町

安全に配慮して計画

今後の観光振興に期待



令和7年度5月と7月に、松崎新港においても西伊豆のような海釣りGOの取組を試験的に行います。

これは、松崎町が観光協会に事業委託して行われるものです。

安全に配慮しながら計画し、管理者である県とも調整しています。

県営の港湾・漁港では、はじめての試みとなります。

西伊豆町では、漁協が協力者となって進めた海釣りGOですが、松崎町では観光振興を切り口にして取り組んでいます。

主催は松崎町になるので、具体の取材は町からのアナウンスにご注目ください。

行事予定表（令和7年4月分）

日	曜日	賀茂地域局	下田財務事務所	賀茂健康福祉センター	賀茂農林事務所	下田土木事務所
1	火					
2	水					
3	木					
4	金					
5	土					
6	日					
7	月					
8	火					
9	水					
10	木					
11	金					
12	土					
13	日					
14	月	防災講座 14:50-15:35 下田高校				
15	火					
16	水	防災講座 9:45-11:00 ひがしいず幼稚園				
17	木	防災講座 13:00-15:25 熱川中学校				
18	金					
19	土					
20	日					
21	月					
22	火					
23	水					
24	木	防災講座 14:00-16:00 ひがしいず幼稚園				
25	金	定例記者懇談会 9:30～ 賀茂キャンパス				
26	土					
27	日					
28	月					
29	火					
30	水					
31						

行事予定表（令和7年4月分）

日	曜日	農林技術研究所 伊豆農業研究センター	水産・海洋技術研究所 伊豆分場	賀茂広域 消費生活センター	賀茂地域 教育振興センター	伊豆観光局
1	火					
2	水					
3	木					
4	金					
5	土					
6	日					
7	月					
8	火					
9	水					
10	木					
11	金					
12	土					
13	日					
14	月					
15	火					
16	水					
17	木					
18	金					
19	土					
20	日					
21	月					
22	火					
23	水					
24	木					
25	金					
26	土					
27	日					
28	月					
29	火					
30	水					
31						

定例記者懇談会資料

4月の防災講座

(賀茂地域局)

(概要)

賀茂地域局では、地域防災力を強化するため、自主防災組織、教育機関等と連携し、防災講座を開催する。

(開催スケジュール)

	日時	場所	対象	内容
①	4月14日(月) 14:50～15:35	下田高等学校 (下田市)	1・2年生 約300人	ふじのくにジュニア防災士養成講座(防災講話) ・自然災害の基礎知識 ・家庭内対策 ・自助・共助の重要性など
②	4月16日(水) 9:45～11:00	ひがしいず幼稚園 (東伊豆町)	保護者・教員 約20人	サバイバルスキルアップ講座 ・簡易なけが人搬送 ・新聞紙の活用(応急用の薪、スリッパ)など
③	4月17日(木) 13:00～15:25	熱川中学校 (東伊豆町)	1～3年生 約70人	調整中
④	4月24日(木) 14:00～16:00	ひがしいず幼稚園 (東伊豆町)	教員・運転手・町教育委員会 約15人	D I G (園バス運行中の災害を想定した図上訓練)

(お願い)

- ・防災講座の取材においては、各学校まで取材を行う旨をご連絡ください。
- ・講座の内容については、変更になる場合があります。
- ・講座の内容に関するお問合せは、下記担当までお願いいたします。

担 当：危機管理課 鈴木

連絡先：0558-24-2004